

# 足利市まち・ひと・しごと創生総合戦略

平成 28(2016)年 1 月  
(令和 2(2020)年 2 月改訂)

足利市

# 目 次

第1章	総合戦略の基本事項.....	1
1	策定の目的 .....	1
2	計画期間 .....	1
第2章	総合戦略の方向性.....	2
1	戦略の展開の方向性.....	2
2	戦略の基本的な視点.....	3
	(1) 推進に際しての基本姿勢.....	3
	(2) 戦略の目標設定.....	3
第3章	総合戦略の展開.....	5
1	基本目標の方向性と戦略.....	5
	【基本目標1】 足利にしごとを増やし、安定して働ける場をつくる .....	5
	1-1 企業誘致の推進.....	6
	1-2 創業支援、稼ぐ力・技術力ある産業の育成、雇用対策の推進.....	7
	1-3 強い農業の育成.....	8
	【基本目標2】 まちの魅力を高め足利へのひとの流れをつくる .....	9
	2-1 「歴史・文化」などのまちの魅力向上と郷土愛の醸成 .....	10
	2-2 まちの魅力を積極的に活用した観光・交流の推進.....	11
	2-3 移住・U I J ターンの促進.....	12
	【基本目標3】 結婚・出産・子育ての希望を足利でかなえる .....	13
	3-1 結婚の希望をかなえる支援の充実.....	14
	3-2 子どもを産み育てやすいまちづくりの推進.....	15
	3-3 豊かな心と主体性をはぐくむ教育の推進.....	16
	【基本目標4】 市民が元気で安心して暮らせる足利をつくる .....	17
	4-1 「健幸」なまちづくりの推進.....	18
	4-2 安心・元気な地域づくりの推進.....	19
	4-3 公共施設の最適化の推進.....	20
2	戦略の推進に向けた取組.....	21
	(1) 効果検証の仕組み.....	21
	(2) 戦略の見直し.....	21

# 第1章 総合戦略の基本事項

## 1 策定の目的

豊かな緑と清らかな水に恵まれ、由緒ある伝統と文化の薫る足利市（以下、本市という）は、令和3年(2021年)に市制施行100周年という節目を迎えます。

この節目を迎えるにあたり、本市は次なる100年を見据えた新しいまちづくりへの第一歩を着実に踏み出すべく、直面する諸課題に真摯に向き合い、現在そして将来の市民の暮らしを支える基盤をさらに強固にしていこうとしています。そして、その最大のテーマが「人口減少社会におけるまちづくり」になります。

本市の人口は平成2年(1990年)の約16万8千人をピークに減少し、特に出生数を死亡数が上回るようになった平成12年以降は、人口の減少に拍車がかかり、平成27年(2015年)4月では15万人を下回りました。

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」（平成25年3月推計）の推計によれば、本市の人口は、令和22年(2040年)に約10万8千人となり、そのうち生産年齢人口は約5万5千人で、全体の51.2%となります。一方、高齢者人口は約4万3千人で、生産年齢人口約1.3人で1人の高齢者人口を支えることとなります。

さらに、令和42年(2060年)の人口は約7万7千人と試算されており、より一層少子高齢化が進むことが予想されています。

このように人口の減少傾向が顕著になり少子高齢化が進むと同時に、総人口に占める生産年齢人口（15歳～64歳）の割合が低くなってしまうと、都市としての活力が著しく低下していくことが懸念されています。

現在の人口構造や出生率の状況をみれば、将来における人口減少は避けられない状況ですが、本市の活力を維持していくため、今後の急激な人口減少を可能な限り抑制し、また、地域経済の活性化や活力ある地域社会の形成などの課題の克服に向けた方向性を示すものとして、本市における人口の現状と将来の展望を提示する足利市人口ビジョンや本市の最上位計画である第7次足利市総合計画との整合性を図り、この総合戦略を策定します。

## 2 計画期間

足利市まち・ひと・しごと創生総合戦略は、第7次足利市総合計画との整合性を図り、平成27年度(2015年度)から令和3年度(2021年度)までの7か年を計画期間とします。

## 第2章 総合戦略の方向性

### 1 戦略の展開の方向性

足利市まち・ひと・しごと創生総合戦略は、国及び栃木県の総合戦略との整合を図ると同時に、本市の人口減少の大きな要因である「20歳前後の転出超過の改善」と「出生数の増加と健康寿命の延伸」を最重要課題としてとらえ、第7次足利市総合計画の推進による将来都市像の実現に向け、次の4つの基本目標を定め、戦略を展開します。

なお、各戦略を展開するにあたっては、国の第2期総合戦略における横断的目標を踏まえ、本市に関わる多様な人材の活躍の推進を図るほか、「新しい時代の流れ」を地方創生の活力とするため、AIなど未来技術の活用等についても、適宜推進していきます。

#### 基本目標1：足利にしごとを増やし、安定して働ける場をつくる

若い世代の経済的基盤の安定を図るため、豊かな地域資源や利便性・安全性の高い立地を活かし、産業の誘致、振興を進め、地域の雇用を創出します。

#### 基本目標2：まちの魅力を高め足利へのひとの流れをつくる

将来的な転入や移住につなげる第一歩として、数ある本市の魅力を磨き上げ、郷土愛の醸成と観光・交流の活性化を図り、人が集うまちをつくります。

#### 基本目標3：結婚・出産・子育ての希望を足利でかなえる

未婚化や晩婚化が進行する中、結婚・出産・子育てを地域全体で応援し、若い世代の希望を実現できる環境を整えます。

#### 基本目標4：市民が元気で安心して暮らせる足利をつくる

進展する高齢化や人口減少に適応する社会形成を図るとともに、一人ひとりが「健幸」な生活を送れるよう、市民、地域と行政が手を携えて、本市における暮らしやすさを高めます。

学びあい つながりあい 元気に輝く<sup>まち</sup>都市 足利  
～ ひとをつくり、産業をつくり、まちをつくる ～

足利市は、日本最古の学校のあるまちとして脈々と受け継がれてきた自学自習の精神と、先人が守り育ててきた自然、歴史、文化及び産業などの多くの財産を有しています。

この精神と財産にさらに磨きをかけながら、まちづくりを推進していくのは、自分たちのまちに愛着をもち、まちのために自ら進んで考え、行動する「市民の力」であり、市民が自ら学び、お互いを育て、「人と人」「人と産業」「人とまち」がつながりあうことでさらに高まります。

この将来都市像は、市民一人ひとりが郷土を愛し誇れる心を次代に継承し、これからも希望にあふれ、元気に輝き続けるまちの姿を表すものです。

## 2 戦略の基本的な視点

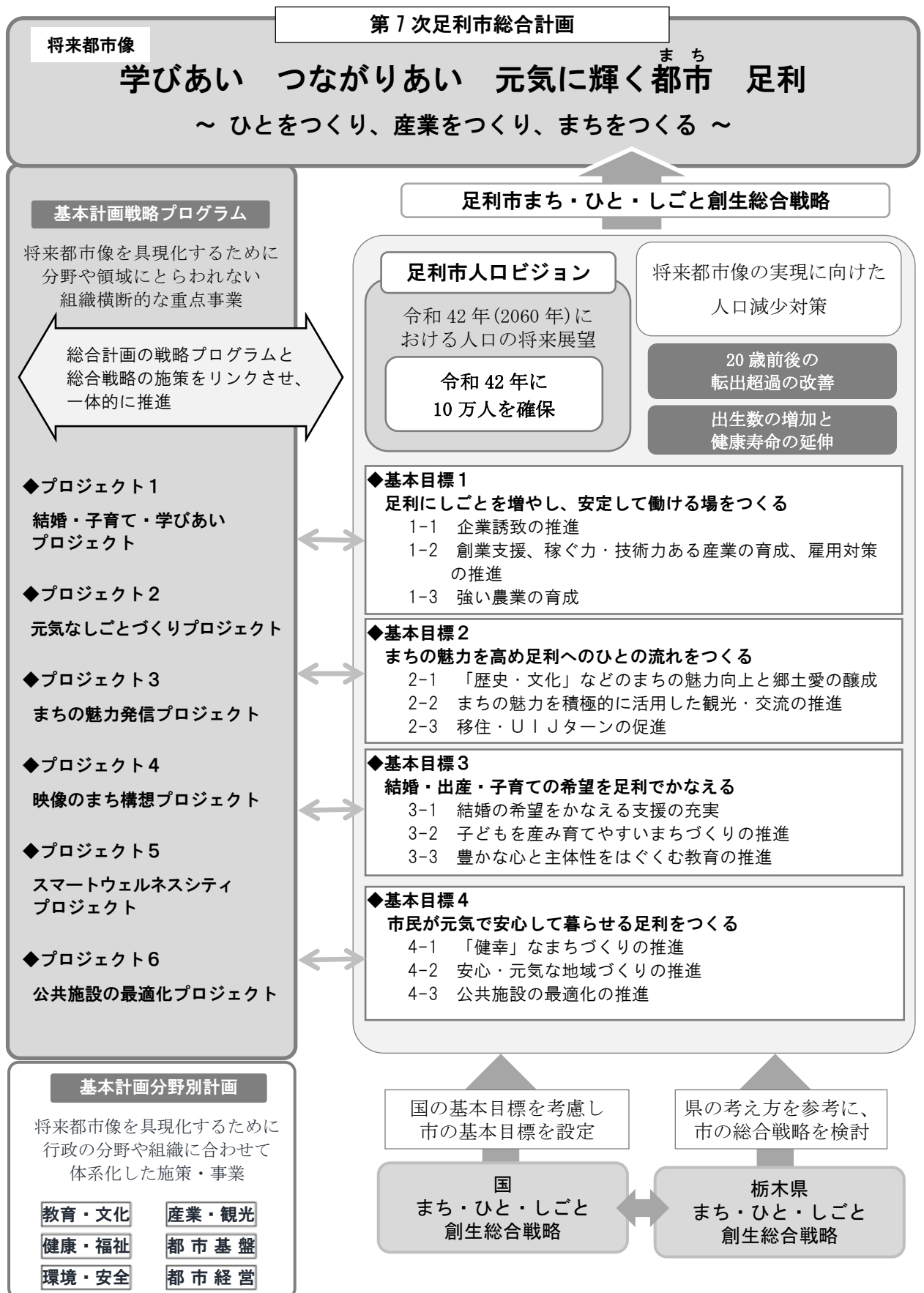
### (1) 推進に際しての基本姿勢

- 人口減少をめぐる課題や目指す将来の方向性を市民と共有し、協働で取り組みます。
- 国の創生総合戦略及び栃木県版「まち・ひと・しごと創生総合戦略」との連携性を保ち、施策の推進にあたっては国の政策5原則（自立性・将来性・地域性・直接性・結果重視）を踏まえるほか、国の「まち・ひと・しごと創生基本方針2019」における新たな視点についても取り入れていきます。
- 足利市総合計画における戦略プログラムと総合戦略の施策との整合を図り、一体的に推進します。
- 豊かな自然や伝統ある歴史・文化、ものづくりの技術など、本市の強みや可能性を活かした戦略を展開していきます。

### (2) 戦略の目標設定

- 本戦略では、国の総合戦略に従い4つの基本目標を設定し、基本目標ごとの成果（数値目標）を定めます。
- また、基本目標ごとに戦略を定め、主な事業を示すとともに、施策の効果を客観的に検証する指標（重要業績評価指標(KPI/Key Performance Indicator))を設定します。

[足利市まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要]



# 第3章 総合戦略の展開

## 1 基本目標の方向性と戦略

### 【基本目標 1】

#### 足利にしごとを増やし、安定して働ける場をつくる

方向性	<p>古くからの「ものづくり」の基盤や既存事業者の有する技術力、交通アクセスのメリットを最大限に活かし、生産性向上や企業誘致の推進、創業支援、産業間連携等による新たな産業創出を図ります。</p> <p>また、農業をはじめとする各種産業における足利ブランドを確立し、他の地域との差別化を図ることにより、足利に仕事を増やします。</p> <p>多様化した雇用形態の対応や女性・高齢者等潜在的な労働供給力を高めるために、就業機会の創出など誰もが安心して働ける場をつくります。</p>
戦略	<p>1-1 企業誘致の推進</p> <p>1-2 創業支援、稼ぐ力・技術力ある産業の育成、雇用対策の推進</p> <p>1-3 強い農業の育成</p>

### 成果指標

指標名	【基準値】 平成 26 (2014) 年度	【目標値】 令和 3 (2021) 年度
■ 製造品出荷額等	3,503 億円	3,750 億円
■ 農産物年間販売額	28 億円	31 億円

※指標名にあるリストマークは、■□は成果指標、●○は重要業績評価指標 (KPI) であり、  
■●は第 7 次足利市総合計画と同一の指標、□○は本総合戦略単独の指標です。

## 1-1 企業誘致の推進

### 戦略のねらい

更なる雇用の場を創出するため、あがた駅南産業団地に続く新たな産業団地の整備を進めます。

また、民有地の活用も含め、企業誘致活動を積極的に推進することで、企業活動による本市への投資や人の流れを強化します。

### 取組の概要

- ①東武鉄道県駅の北側区域に新たな産業団地の開発を進めます。
- ②企業誘致を図るため、栃木県や金融機関等の関係機関と連携を密に活動を展開します。

### 主な事業

- （仮称）あがた駅北産業団地開発事業
- 産業用地バンク事業
- 企業立地促進事業 など

### 重要業績評価指標（KPI）

	【基準値】	【目標値】
	平成 26(2014) 年度	令和 3(2021) 年度
●企業立地累計件数	—	36 件





## 1-2 創業支援、稼ぐ力・技術力ある産業の育成、雇用対策の推進

### 戦略のねらい

関係機関や関係団体との連携、協力により、創業のサポートを充実し、今後成長が見込める産業分野の育成、支援を行うとともに、市内の事業者等が行う事業への支援や、地域資源を活かした新商品の開発や新サービスの開発等を支援します。

また、若者の市内就職率向上策や多様な働き方の支援策を進めることで、人材の確保を図ります。

### 取組の概要

- ①創業を希望する方、創業者や創業後間もない方を、関係団体と連携したサポートや安価なオフィスの提供、試験的事業の支援を行うことにより、育成・支援します。
- ②地域資源を活用した新商品・サービスの開発等の支援や地域経済を牽引していくことが期待される企業活動、今後一層の成長が見込まれる産業分野の育成・支援に取り組むことで、地域経済の活性化を促進します。
- ③販売促進に向けた調査研究を進めるとともに、商店街等が行う、集客力の向上や回遊につながるような、各種事業を支援します。
- ④若者の市内企業への就労及び市内企業就業者の本市への移住を図るため、PR活動等に取り組みます。また、子育てをしている女性の就労ニーズを掘り起こし、多様な働き方を促進します。

### 主な事業

- しごとづくり支援事業
- 空き店舗対策事業
- 起業・創業チャレンジ応援事業
- 融資対策事業
- 新産業研究開発サポート事業
- 地域商店街活性化支援事業
- 地域経済活性化促進事業
- 地域商業団体活動支援事業
- 中小企業基盤強化事業
- 就労支援事業
- 地域エネルギー推進事業
- 市内企業等地域人材確保事業
- あしかがおしごと研究所実証事業
- 市内企業従業員定住促進事業
- など

### 重要業績評価指標（KPI）

	【基準値】	【目標値】
	平成 26(2014) 年度	令和 3(2021) 年度
●創業支援事業計画における年間創業者数	65 人	70 人
●地元購買率	79.9%	85.0%
●新規高卒就職者の市内就職率	32.6%	40.0%

## 1-3 強い農業の育成

### 戦略のねらい

認定農業者への経営支援や新規就農者、後継者及び法人などの育成・確保を図ります。

また、農地集積による農作業の効率化を推進するほか、「あしかが美人」に代表される特産物のブランド化を進め、安定した強い農業づくりを推進します。

### 取組の概要

- ①安定した強い農業の確立に向けて、農地の集積・集約化を推進するとともに、効果的な設備や機械の導入を促進するなど、経営基盤の充実を図ります。
- ②持続可能な農業に向けて、地域営農組織や法人化を推進するとともに、新規就農塾と足利市農業大学講座による新たな担い手の継続的な確保を図ります。
- ③新たな栽培技術を導入し、高品質な農畜産物の安定出荷を目指すとともに、ブランド化、6次産業化を推進します。また、消費者向けの情報発信、国内市場の動向及び海外輸出に向けた調査研究を推進します。
- ④南部地域の土地改良事業を推進し、農地の高度利用や生産性の向上につなげます。

### 主な事業

- |              |                      |
|--------------|----------------------|
| ○経営所得安定対策    | ○担い手育成確保事業           |
| ○農地中間管理事業    | ○地域農業担い手組織育成事業       |
| ○新規就農塾開催事業   | ○経営体育成支援事業           |
| ○農業次世代人材投資事業 | ○農産物ブランド力強化支援事業      |
| ○南部地域土地改良事業  | ○次世代農業強化支援事業      など |

### 重要業績評価指標（KPI）

	【基準値】	【目標値】
	平成 26(2014)年度	令和 3(2021)年度
●主要園芸品目 <sup>*1</sup> の年間販売額	16.2 億円	19 億円
○累計新規就農者数	—	62 人

<sup>\*1</sup>主要園芸品目…トマト、いちご、トルコギキョウ、アスパラガス

## 【基本目標 2】

### まちの魅力を高め足利へのひとの流れをつくる

<b>方向性</b>	<p>歴史、文化、自然、その他の豊かな地域資源を発掘し、磨き上げ、まちの魅力としてさらに高め、これらを活用した観光と交流の活性化を図ります。</p> <p>また、市民によるまちの魅力の再発見や新たな魅力の創出により、郷土愛を育み、市外への転出抑制につなげるとともに、定住人口を増加させるための施策を展開します。</p>
<b>戦略</b>	<p>2-1 「歴史・文化」などのまちの魅力向上と郷土愛の醸成</p> <p>2-2 まちの魅力を積極的に活用した観光・交流の推進</p> <p>2-3 移住・U I J ターンの促進</p>

### 成果指標

指 標 名	【基準値】 平成 26(2014)年度	【目標値】 令和 3(2021)年度
■観光客入込数	355 万人	500 万人
□年間転入者数	4,362 人	4,800 人

※指標名にあるリストマークは、■□は成果指標、●○は重要業績評価指標(KPI)であり、  
■●は第7次足利市総合計画と同一の指標、□○は本総合戦略単独の指標です。

## 戦略及び重要業績評価指標（KPI）

### 2-1 「歴史・文化」などのまちの魅力向上と郷土愛の醸成

#### 戦略のねらい

国宝と日本遺産を有し、また古代から近代に及ぶ多くの文化財のあるまちとして、その価値と魅力を向上させ、戦略的に発信します。

また、市民の本市に対する関心や愛着の醸成を図るため、様々な取組を進めます。

#### 取組の概要

- ①日本遺産足利学校や国宝鏝阿寺などの文化財のさらなる調査・研究や整備を進めるとともに、市民の文化財への理解を深めます。
- ②まちの景観特性を捉え、その地域らしい景観の形成に取り組みます。
- ③地域の特性や防災性に配慮するとともに、市民も来訪者も歩いて楽しめる市街地を整備します。
- ④市民と行政が連携してまちの魅力を掘り起こし、発信していくための取組を進めます。
- ⑤市民が郷土愛を育み、それぞれのニーズに合った学習を自発的に行えるような支援を行います。

#### 主な事業

- 日本遺産を活用したPR事業
- 国宝展示などの文化財公開事業
- 大日西・中央土地区画整理事業
- 足利学校や樺崎寺跡などの史跡整備事業
- 「The あしかが学」<sup>※1</sup>など生涯学習講座の開催
- シティプロモーション推進事業
- 地域おこし協力隊の活用
- 景観形成ガイドラインの作成
- など

#### 重要業績評価指標（KPI）

	【基準値】	【目標値】
	平成 26(2014) 年度	令和 3(2021) 年度
●観光アシスタント登録者数	—	120 人
●本市に愛着を持つ市民の割合	—	+1 ポイント (前年比)

※1「The あしかが学」…本市固有の歴史・文化や自然・環境などの特徴や特性を学び、地域の様々な課題に対して、学んだ成果を活かしながら主体的に行動できる市民の育成を目指す講座。

## 2-2 まちの魅力を積極的に活用した観光・交流の推進

### 戦略のねらい

国内外の多くの人を惹きつけられるよう、様々なメディアや情報ツールを活用し、本市のイメージアップと認知度の向上を図るとともに、豊かな地域資源とおもてなしの心による、来訪者に満足度の高い観光・交流の機会を提供します。

### 取組の概要

- ①民間事業者とも連携し、ポスター、メディア、SNS、外国語パンフレットなどを活用し、国内外に効果的な観光プロモーションを展開します。
- ②社寺や街並みなどを活用した魅力ある夜間風景や参加型イベントを実施するなど、夜景を積極的に活かした滞留型観光を展開します。
- ③歩行者天国、着物によるまち歩きなど、歩いて楽しめる観光や、映像をキーワードとした観光による誘客に取り組みます。
- ④AI 技術の活用等による外国人旅行者受入体制の整備や市民の知識を活かした観光アシスタント、観光ボランティアガイドなど、市民のおもてなしの心による観光振興を図ります。
- ⑤地域で活躍する人材を育て活かし、新たなまちの魅力を発信することで、関係人口のさらなる拡大に繋がります。

### 主な事業

- |                 |                      |
|-----------------|----------------------|
| ○国内外観光誘客事業      | ○映像まつり開催事業           |
| ○国内外魅力発信事業      | ○歩くまち空間創出事業（歩行者天国など） |
| ○夜景観光開発事業       | ○足利来訪おもてなし事業         |
| ○着物による魅力創出事業    | ○まちなか賑わい創出事業         |
| ○オリンピック観光誘客促進事業 | など                   |

### 重要業績評価指標（KPI）

	【基準値】	【目標値】
	平成 26(2014) 年度	令和 3(2021) 年度
○外国人年間延べ宿泊者数	3,000 人	3,300 人
●観光客年間宿泊者数	26,000 人	40,000 人

## 2-3 移住・U I J ターンの促進

### 戦略のねらい

本市の魅力と暮らしやすさを効果的にPRするとともに、支援策や受入体制の整備を進め、幅広い年齢層に移住先として選ばれ、その希望を実現できる環境をつくります。

### 取組の概要

- ①移住情報サイトの活用やパンフレット配布、移住セミナーなど、首都圏を中心に積極的な情報発信と潜在ニーズの把握に取り組みます。
- ②首都圏の若者を主な対象とした、関係団体との連携による就職ガイダンスなどを開催します。
- ③民間団体等との連携により、住宅の情報を提供します。
- ④移住体験ツアーやお試し居住制度の活用、中山間地における自然体験等を通し、首都圏住民と地元住民の交流を図り、関係人口を創出・拡大することで移住に繋げることを目指します。

### 主な事業

- 移住・定住促進パンフレットの作成・配布
- 首都圏の移住情報関連施設でのセミナー開催
- 移住情報サイトの活用
- 足利市移住・定住相談センター「Aidacco(あいだっこ)」を活用した支援
- ハローワークや栃木県、両毛広域都市圏などとの連携による就職ガイダンスの開催
- 民間団体等との連携事業
- 移住体験ツアー
- 足利・名草ふるさと自然塾
- お試し居住事業
- その他

### 重要業績評価指標 (KPI)

	【基準値】	【目標値】
	平成 26(2014) 年度	令和 3(2021) 年度
●移住相談会等累計参加者数	—	240 人
○移住体験ツアー累計参加者数	—	100 人



## 【基本目標 3】

### 結婚・出産・子育ての希望を足利でかなえる

方向性	<p>足利市の暮らしやすさをPRするとともに、出会い・結婚に向けた取組を支援します。</p> <p>子育て世代が安心して出産、子育てできるよう、きめ細やかな支援を実施するとともに、民間のボランティア組織や子育て支援の地区組織との連携により、地域全体で各ライフステージを切れ目なく支える環境をつくります。</p> <p>学校、家庭、地域が連携して、子ども一人ひとりが、自ら考え、自主的に判断し行動できる「自ら学び心豊かにたくましく生きる足利っ子」を育成します。</p>
戦略	<p>3-1 結婚の希望をかなえる支援の充実</p> <p>3-2 子どもを産み育てやすいまちづくりの推進</p> <p>3-3 豊かな心と主体性をはぐくむ教育の推進</p>

### 成果指標

指 標 名	【基準値】 平成 26 (2014) 年度	【目標値】 令和 3 (2021) 年度
□乳幼児健診時の保護者への調査 この地域で子育てをしたいと思う親の割合	—	95.0%
□合計特殊出生率	1.49	1.58

※指標名にあるリストマークは、■□は成果指標、●○は重要業績評価指標 (KPI) であり、  
■●は第 7 次足利市総合計画と同一の指標、□○は本総合戦略単独の指標です。

## 戦略及び重要業績評価指標（KPI）

### 3-1 結婚の希望をかなえる支援の充実

#### 戦略のねらい

ライフスタイルが多様化する中で、結婚を前向きにとらえる意識を醸成し、個々に応じた結婚を望む時期にその希望を実現することができる環境をつくります。

#### 取組の概要

- ①男女が出会う機会の拡充に向けて、市内で行われる各種婚活関連事業の情報を広く提供します。
- ②市民団体等が開催する婚活事業の事業名称等に「あしかが婚活応援事業」の名義を使用することで、参加希望者が安心して参加できるよう、民間婚活事業を支援します。
- ③「とちぎ未来クラブ」（事務局：栃木県）と連携し、出会いの機会を提供することにより、結婚に対する関心や意識を高めていきます。

#### 主な事業

- 婚活応援事業周知PR事業
- あしかが婚活応援事業
- 足利市移住・定住相談センター「Aidacco(あいだっこ)」に「とちぎ結婚支援センター足利」の設置 など

#### 重要業績評価指標（KPI）

	【基準値】	【目標値】
	平成 26(2014) 年度	令和 3(2021) 年度
●年間婚姻件数	684 組	750 組
○あしかが婚活応援事業参加者数	47 人	350 人



## 3-2 子どもを産み育てやすいまちづくりの推進

### 戦略のねらい

安心して妊娠、出産、子育てできるようきめ細やかな支援を実施し、地域と家庭が一体となって子育てを支える環境をつくります。

### 取組の概要

- ①不妊に悩む夫婦や、妊娠しても流産や死産を繰り返してしまう夫婦に対し、治療費の一部を助成します。未熟な状態で生まれた乳児にも指定医療機関で安心して入院治療や養育が受けられるよう医療費給付を実施します。
- ②すべての子どもを健やかに産み育てられるよう、民間ボランティア組織や子育て支援の地区組織と連携し、妊娠期・乳幼児期の母子の健康の保持増進を図ります。
- ③子育て世代包括支援センターによる妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援の充実を図ります。
- ④子育て家庭の生活実態を踏まえ、多様なニーズに対応した保育環境や放課後児童対策の充実に取り組みます。
- ⑤初めての子を持つ母親を対象とした事業を実施することにより、仲間づくりと育児不安の解消を進め、いきいきと子育てができる環境づくりを推進します。
- ⑥ワーク・ライフ・バランス<sup>※1</sup>の考えを取り入れ、子育てをしている人が安心して働くことができるよう意識の啓発などの取組を推進します。

### 主な事業

- 子育て世代包括支援センター利用者支援事業
  - 不妊・不育症治療費助成事業
  - 母子健康支援事業
  - 養育医療給付事業
  - 放課後児童健全育成事業
  - 特別保育事業
  - ワーク・ライフ・バランスの啓発事業
  - 親子の絆づくりプログラム
  - 妊婦乳幼児健診
  - 新生児聴覚検査助成事業
- など

### 重要業績評価指標（KPI）

	【基準値】	【目標値】
	平成 26(2014) 年度	令和 3(2021) 年度
○不妊・不育症治療費助成件数	99 件	125 件
○妊婦の相談支援件数	98 件	420 件
●放課後児童クラブ数	42 か所	57 か所
●子どもを産み育てる取組の満足度 (5段階評価)	3.24	3.50
●仕事と子育ての両立支援の満足度 (5段階評価)	3.21	3.50

※1ワーク・ライフ・バランス…一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった各段階に応じて多様な生き方が選択、実現できること。

### 3-3 豊かな心と主体性をはぐくむ教育の推進

#### 戦略のねらい

子どもたちの個性と可能性を伸ばし、学力の向上と豊かな人間性、社会性、自主性・自律性の育成を進めます。

#### 取組の概要

- ①子どもたち一人ひとりの特性に応じたきめ細かな学習指導により、学力の向上を図ります。
- ②子どもたちの心身の成長に応じたサポートを行うため、児童生徒相談員を小・中学校に配置します。
- ③子どもたちが、読書のおもしろさを味わい、本に慣れ親しむことで創造力を豊かにし、集中力を高められるよう、読書活動の推進に取り組みます。
- ④地域での社会体験活動などを通して、子どもたちの「豊かな心」を育みます。また、子どもたちが将来の目標と希望を持ち、自ら学ぶきっかけを作ります。
- ⑤市立小中学校教職員が行う事務負担の軽減を図ることで、教員が児童生徒と向き合える時間を確保できるようにします。

#### 主な事業

- 学力向上・指導力強化支援事業
  - マイ・チャレンジ推進事業
  - 児童生徒相談員推進事業
  - 子どもの夢づくり事業
  - 学校図書館の蔵書整備事業
  - 放課後子ども教室事業
  - 学校図書館活用推進事業
  - 中学生地区活動ボランティアクラブの活動支援
  - 統合型校務支援システムの導入
  - 部活動指導員配置事業
- など

#### 重要業績評価指標（KPI）

	【基準値】	【目標値】
	平成 26(2014) 年度	令和 3(2021) 年度
●学校の授業以外で 1 日に 30 分以上読書をする児童生徒の割合		
小学 6 年生	36.1%	40.0%
中学 3 年生	32.6%	36.0%
●地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある児童生徒の割合		
小学 6 年生	37.2%	43.0%
中学 3 年生	28.7%	34.0%



## 【基本目標 4】

### 市民が元気で安心して暮らせる足利をつくる

方向性	<p>足利市に住むすべての市民がいつまでも安心して暮らし続けることができるよう、「健幸」の視点から市民の健康行動とスマートウェルネスシティの推進による健康寿命の延伸を目指します。</p> <p>市民のニーズや価値観が多様化する中、「まちづくりの主役は市民」との基本に立ち、まちづくりを支える様々な市民との役割分担のもと、市民の力、地域の力を発揮したまちづくりを目指します。</p> <p>将来的な人口構造の変化に対応した公共施設の最適化を進め、真に必要で利便性の高い公共施設を次の世代に引き継ぎます。</p>
戦略	<p>4-1 「健幸」なまちづくりの推進</p> <p>4-2 安心・元気な地域づくりの推進</p> <p>4-3 公共施設の最適化の推進</p>

### 成果指標

指 標 名	【基準値】	【目標値】
	平成 26(2014)年度	令和 3(2021)年度
■健康寿命 <sup>*1</sup>	(平成 22 年度) 男性 77.15 年 女性 82.30 年	延伸
□市民アンケート 幸福感の現状 (10 段階評価)	6.82 (平均)	7.50 (平均)
□市民アンケート 市民と行政との協働の取組満足度	27.7%	35.0%
□市民アンケート 生活習慣病や介護の予防の取組満足度	40.9%	45.0%

\*1 健康寿命…認知症や寝たきりにならない状態で生活できる期間

※指標名にあるリストマークは、■□は成果指標、●○は重要業績評価指標 (KPI) であり、  
■●は第 7 次足利市総合計画と同一の指標、□○は本総合戦略単独の指標です。

## 4-1 「健幸」なまちづくりの推進

### 戦略のねらい

生活習慣病予防や寝たきり予防といった健康寿命の延伸と医療費の抑制につながる健康なまちづくりに向けた施策を展開します。また、市民が日頃から楽しく歩くことができるような取組や、歩行者天国などのイベントの創出のため、市民力を活用します。

住み慣れた地域で自分らしい生活を続けるために、ともに支えあい、健康で幸せと感ずることができる環境づくりを進めます。

### 取組の概要

- ①ウォーキングイベントの開催などに加え、健康無関心層を取り込むなどの健康づくり戦略を強化し、産学官民との連携により、多様な視点で「高血圧ゼロのまちづくり」を推進します。
- ②ウォーキングコースやハイキングコースの設定、歩行者天国などのイベントの創出を通して、市民が楽しく安全に歩くことができるまちの空間の整備を行います。
- ③日本遺産足利学校や国宝鏝阿寺などの周辺を「足利の顔」として景観重点地区に指定し、快適で魅力的な景観を整備することで、「歩きたくなるまちづくり」を推進します。
- ④地域包括支援センターと連携し、高齢期も安心して暮らすことのできる地域を形成します。

### 主な事業

- 減塩生活プロジェクト事業
- 鉄道会社等と連携したハイキング事業
- 健幸マイレージ事業
- 歩くまち空間創出事業（再掲）
- 健幸アンバサダー養成事業
- まちなか回遊サイン設置事業
- ウォーキングイベント
- 大日西・中央土地区画整理事業（再掲）
- まちじゅう・スポーツ健幸ジム事業
- 足利の顔となる景観づくり
- 元気アップ・介護予防事業
- 地域包括支援センター運営事業
- ハイキングコース、ウォーキングコースの設定
- 認知症総合支援事業
- など

### 重要業績評価指標（KPI）

	【基準値】	【目標値】
	平成 26(2014) 年度	令和 3(2021) 年度
●健幸マイレージの参加者数	—	15,000 人
●特定健康診査・特定保健指導の受診率	特定健康診査	60.0%以上
	特定保健指導	60.0%以上
○歩行者天国の実施回数	—	24 回
●元気アップサークル数	114 サークル	220 サークル



## 4-2 安心・元気な地域づくりの推進

### 戦略のねらい

まちづくりの大きな原動力となる市民や地域の力をより一層発揮し、市民や民間団体との協働により、誰もが活躍できる地域づくりを目指します。

いつでもどこでも起こりうる地震や豪雨などの自然災害に備え、自主防災組織等の民間団体等と連携し地域防災力の向上を目指します。

### 取組の概要

- ①市民力を活かしたまちづくりに向けて、市民と行政との協働事業の拡充を図り、市民団体による主体的な地域活動への支援事業を実施します。
- ②市職員による市民活動へのサポート事業の実施や地域おこし協力隊の活用など、コミュニティの活性化に向けて取り組みます。
- ③自主防災会の活動強化のため、防災訓練や、防災リーダー研修の充実を図るほか、災害時応援協定による民間団体等との連携体制を強化します。

### 主な事業

- |              |                         |
|--------------|-------------------------|
| ○市民力創出協働事業   | ○防災訓練補助事業               |
| ○市民活動支援補助金事業 | ○防災リーダー研修会              |
| ○市民力サポート事業   | ○災害時応援協定による連携体制強化<br>など |

### 重要業績評価指標（KPI）

	【基準値】	【目標値】
	平成 26(2014) 年度	令和 3(2021) 年度
●市民と行政との協働事業数	114 件	150 件
●自治会活動顕彰累計件数	—	28 件
●防災リーダーの育成	1,521 人	2,140 人



## 4-3 公共施設の最適化の推進

### 戦略のねらい

少子高齢化と人口減少が進む中でも、持続可能で利便性の高い公共サービスを提供していくため、中・長期的な視点から公共施設マネジメントを推進し、公共施設の適正な配置と効率的な管理運営を目指します。

### 取組の概要

- ①公共施設に関する情報の全庁的な一元管理を行うため、「固定資産台帳」のデータベースシステムを構築します。
- ②将来にわたり、安心・安全で真に必要な公共サービスを市民に提供していくため、総合的な視点による公共施設の最適化に向けたマネジメントに取り組みます。

### 主な事業

- 固定資産台帳の整備・更新
- 施設の複合化など、施設総量の適正化
- 公共施設等総合管理計画及び個別計画等の策定・推進
- 新クリーンセンターの整備
- 新市民会館の整備
- 新斎場の整備
- 新消防本部庁舎の建設
- 小中学校における民間プール等の活用
- など

### 重要業績評価指標（KPI）

	【基準値】	【目標値】
	平成 26(2014) 年度	令和 3(2021) 年度
○公共施設等総合管理計画及び個別計画等の策定数	—	12 件



## 2 戦略の推進に向けた取組

足利市まち・ひと・しごと創生総合戦略は、「令和 42 年(2060 年)に人口 10 万人を確保」を目指して、本市の取り組む 7 年間の道筋を示したものです。

総合戦略の推進にあたっては、戦略に掲げた取組を着実に実行するとともに、その実効性を高めるため、次のように取り組みます。

### (1) 効果検証の仕組み

- 本戦略の進行管理にあたっては、施策及び関連事業の実施状況を毎年度把握するとともに、重要業績評価指標（KPI）の検証を通じて次年度の施策を改善するPDCAサイクルを導入します。
- 産官学金労言（産業界、行政、教育界、金融機関、労働団体、メディア）及び市民の代表からなる「足利市民戦略会議」などにより、効果を検証し、PDCAサイクルに則って戦略を推進します。

### (2) 戦略の見直し

- 本戦略は、社会経済情勢や市民ニーズへの確かつ柔軟に対応ができるよう、第 7 次足利市総合計画の進捗に合わせ、必要に応じ見直すこととします。

